

2020・7・22～14

アポイ十前後



今回の遠征はヒメチャマダラセセリの保全と生態調査がメイン。旭川でA先生が、50日大雪山籠もりから下りてきたW御大を拾い我が家に13時前に到着。車に荷物を詰め込み出発。「今、庭にオオイチの♀が来ていたよ」とW御大。「ええ一つ」と私。ヤマナラシの小さな木が用水路の土手に増えてきていて、そこを偵察に来たのだろう。これは楽しみだ。

天気はいまいちだが、様似に入る前に、日高町のツマジロを観に行くことに。辻氏が先日数頭確認し、野外卵も4つ見つけている。♀の産卵が見られないかなあ。



W御大と教育大のK君



他のチョウはPieris、ベニヒカゲくらいしか飛んでいない。ツマジロの探し見つけたと思ったら、カラタカの卵でした。

支援センターで定番のシャブシャブの準備をしてN氏を待つ。ヒメ
チャの袋掛け作業(100個)には、A新聞のFさんも調査を手伝って
くれるそうで前泊、結局5人で会食。



23日、8時にビジ
ターセンター集合。
ファンクラブのSさ
ん、Tさん、役場の
Sさんなどなど今
日の作業のボラン
ティアを含め総勢
15名の大パーティ
になった。



今にも雨が落
ちてきそうな天
気で、とにかく
蒸し暑い。いつ
ものようにゼイ
ゼイしながら登
山開始。



膨大な汗をかいて避難小屋到着。汗まみれの顔をK君に撮影してもらおうが状況は伝わるだろうか？W御大は大雪でまた10キロやせたとバナナを食べている。私も痩せればよいのだが……。



ネットの中のヒメチャ幼虫は2～終齢、皆元気でした。終齢まで育つことができ
そうもない小さな株の個体を移し替える作業を、みんなで協力してやり始める。
これがなかなか面倒な作業でなかなか進まない。



これは終齢



大株用のネットは百元ショップの洗濯ネット
私はチュールという生地で作った(20枚限定)。
これが評判がいいのだが手間がかかる。

2時過ぎに雨も降りだしたので今日の分は終了。新しくハイマツを伐採した試験地の状況を確認して下山。



ハイマツを除去した後のリター層の取り扱いをどうしよう？と相談中。

24日。N・W・Fチームは今日もネット掛けの作業。申し訳ないが私らは予定通り(途中厚真と日高に寄りながら)帰ることに。

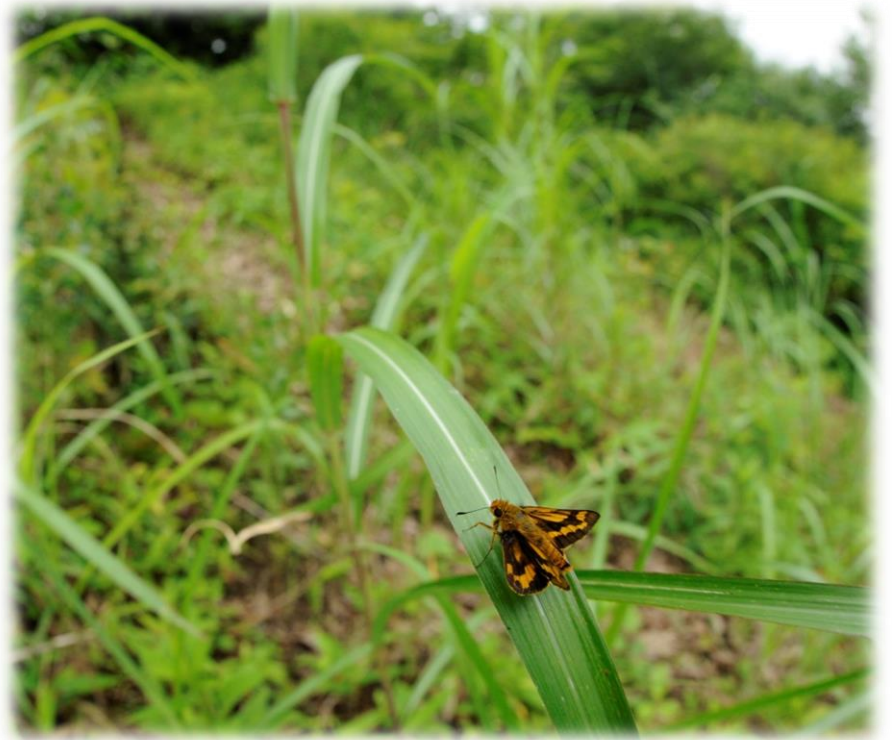


6次支援センター出発。厚真のキマモドポイントに8時半着。さっそくキマモド君がワンサカお出迎え



キマモドは新鮮なオスばかり。飛び回っているのは幼虫を探していたエリア。♀の出るのを待っている感じ。T&N組で、あんなに探しても、なぜ幼虫は見つからないのかとまた改めて憤るのであった。

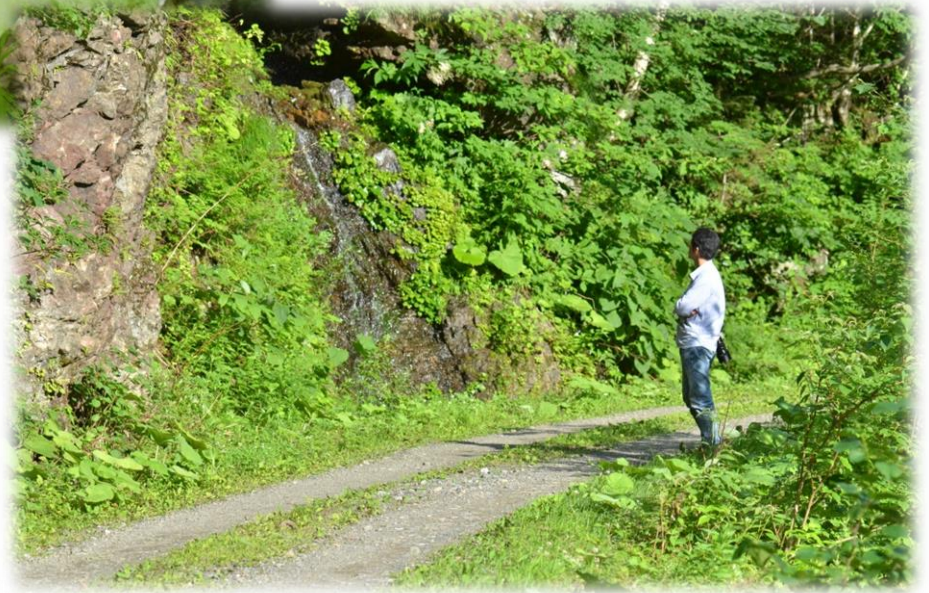




キマモドの他にヘリチャとキマダラセセリが顔を出してくれた。



キマモド撮影を終了し日高にリベンジに向かう。第1ポイントで1♀に出会う。これは幸先いいぞと粘るが、その後は数回飛来を目撃したのみで撮影はできず。天気がイマイチで、陽が差すと飛ぶのだが・・・。



ツマジロ待合時間の撮影集1

エゾスジグロがコンロンソウに産卵。



ウラジャみは崖
や人の手で吸水。
♀(左)は斜面の
スゲがある下草
の間を探草飛翔。
このエリアをさが
せば幼虫発見で
きそう。





メスアカミドリの♂



ルリシがホザキナナカマドに産卵。だが、なぜかこの食草で幼虫が見つからない。

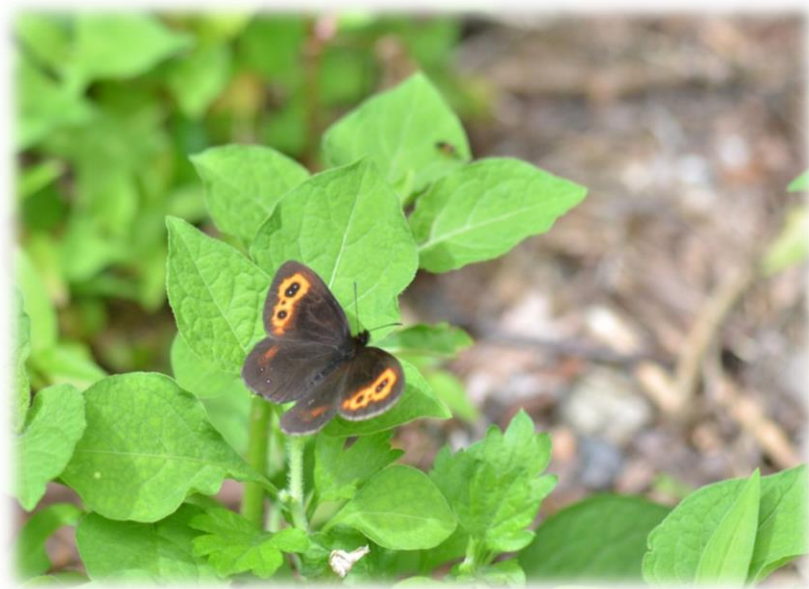
待合時間の撮影集3



ジョウザンシジミの生き残り



ミスジの卵。オオヨモギとエゾイタヤから発見。



ベニシジミは♂主体



カラタカの1齢も見つかった。

おわり